


準備から旅の注意点まで、
知って安心の親切マニュアル

山崎まゆみ

さあ、 バリアフリー 温泉旅行に 出かけよう！



車いすでも、身体が不自由でも、 温泉を楽しめる！

温泉エッセイストとして
メディアで活躍する著者による
「みんなが笑顔になる」温泉旅行のススメ。
必需品チェックや温泉宿選びのポイント、
入浴時の注意など、情報満載の1冊！



巻末掲載
「おすすめ
温泉宿20選」
リスト付き！

河出書房新社

河口湖温泉郷「富士レークホテル」(山梨県)

1999年から客室のユニバーサル化に取り組んできた井出泰済社長が目指すのは「誰もが楽しめるやさしい宿」。河口湖が一望できる貸切風呂「レークビュー」にはリフト付きのお風呂があり、シャワーキャリーで浴場に入り、リフトに乗り換えれば、簡単な機械動作によつて、リフトに乗車したまま入浴できます。

「レークビュー」は14〜15人ほど入浴可能な広さがあり、湯船の両脇には広いスペースも確保されています。お風呂マットが敷かれてあり、寝ころんだまま身体を洗うことができます。脱衣所も広く、多機能トイレも付いています。

温泉旅館に滞在する最大の楽しみのひとつは食事です。一緒にいく人と、みんなと同じ食事ができたらいいですね。

「富士レークホテル」ではアレルギー対応をはじめ、「一口大」、「刻み食」、「極刻み食」、「ペースト食」、「おかゆ」のバリエーションを用意しています。通常、旅館で出される料理すべてに対応します。

「料理長は常日頃、料理は見た目も大切と言っておりますので、ペースト食のように形が無くなってしまうことに、当初は抵抗があったようです。説得するのが大変でした」(「富士レークホテル」井出社長)というエピソードもあるほどですが、こんなに展開食があるのは嬉しいですね。

男鹿温泉「結いの宿 別邸つばき」(秋田県)

フロントロビーに多機能トイレがあります。その多機能トイレを示すイラスト



上：「富士レークホテル」貸切風呂入り口のスロープ

下：「富士レークホテル」リフト付き貸切風呂